

ミクロ経済学 第3回 解答解説

A1. ○ (👉VテキストP112)
A2. ○ (👉VテキストP115) 消費者の場合、効用が等しい財の消費量の組合せは無差別である。なお、一定の基準に照らして状態が同じことを消費者に限らず無差別という。
A3. × (👉VテキストP115,129) 無差別曲線の接線の傾き(絶対値)=限界代替率 限界代替率=2財の限界効用の比率
A4. ○ (👉VテキストP117) 通常は無差別曲線は、原点に対して凸であり、右上のものほど効用水準が高い。
A5. × (👉VテキストP118) 同一個人の無差別曲線は交差しない。
A6. ○ (👉VテキストP119)
A7. ○ (👉VテキストP126)
A8. ○ (👉VテキストP133) コブ=ダグラス型効用関数の公式を適用